

不思議の  
国のアリス  
のあらす  
じなど

pb

## はじめに

---

これは、不思議の国のアリス（ルイス・キャロル著）のストーリーを、キーワードを並べるような形で記した本です。この有名なお話のストーリーを、思い出す手がかりになれば幸いです。しかし、このお話を読んだことがない人がこれだけを読んでも、さっぱりだと思います。ぜひ原作に興味を持って、読んでいただければ幸いです。なお、元にさせていただいたのは山形浩生さんの訳です。

基本的にはあらすじなのですが、つい勢いあまって余計な事を書いちゃっているかもしれませんので、ご注意ください。

山形浩生さんは、日本語に翻訳した不思議の国のアリスを公開されています(\*1)。とても感謝しています。

\*1

<http://www.genpaku.org/alice01/alice01j.html>

## 第1章

---

土手にいるアリス

退屈

白ウサギ発見！

うさぎの穴にダイブ

落ちながら色々考える

ドシン！

長い通路

扉だらけ

ガラスのテーブル

その上にカギ

そして小びんの薬

飲むと、縮まるアリス

カギが取れない

テーブルの下の小さなガラスの箱

その中にケーキ

ケーキを食べるアリス

## 第2章

---

こんどは大きくなるアリス

カギは取れたけど、扉には入れない

泣くアリス

白うさぎ再登場

話しかけるとびっくりして逃げていってしまううさぎ

手袋と扇子を入手

扇子の効果で60センチまで縮むアリス

でもまたカギを取り忘れた

ショボーン...(・ω・`)

と、足がすべって涙の池へポチャン！

ネズミ発見

他にもはまった動物多数

みんな泳いで岸にたどり着く

## 第3章

---

ネズミの戯れ言は役立たず

ドードーのめちゃくちゃかけっこで乾燥

ネズミの話は退屈

ネコの話でみんなドン引き

そしてみんないなくなった

ひとりぼっちのアリス

ピタピタという足音が...

## 第4章

---

落とし物を探す白ウサギ

メリーアんと、人違い

池からあがってみたら、周りの状況一変

とりあえず言われた通りに走って家へ

こりずにびんの中身を飲むアリス

巨大化

ぱしりのビル（トカゲ）

小石が雨あられ

なぜかケーキになっちゃう小石

ケーキを食べて縮むアリス

逃げ出す

犬と遭遇

キノコ、そしてその上のいもむし（キャタピラー）

## 第5章

---

いもむしと問答

ウィリアム父さんおとしをめしてを暗唱

キノコを食べて縮んだ後、突如巨大化

ろくろっくび状態

ハトにヘビに間違われる

なんとか元の大きさに

突然小さなうち発見

## 第6章

---

いきなりお仕着せの召使い登場

カエルと魚のご挨拶

「侯爵夫人へクロケーのご招待」

召使いとの不毛な押し問答

そして家の中へ

コックと侯爵夫人と赤ちゃんとコショウ

さりげなくチェシャねこ登場

赤ちゃんをあやすアリス

ブタになって、森へ消えて行く赤ちゃん

チェシャねこに相談

帽子屋か、三月うさぎか

三月うさぎを選択するアリス

三月うさぎの家発見



## 第7章

---

家の前の木の下のテーブル

三月うさぎと帽子屋さんがお茶している

(選択した意味ないし)

あとねてばかりのヤマネと

なぜなぜする？

日付が2日もくるっている時計

バターのせい？

刻まれた時

ヤマネ渾身の、いなか姉妹のおはなし

井戸の底で糖蜜をたべる

まみむめもで始まるものならなんでも書く姉妹

変な人や変なうさぎの無礼さにブチ切れるアリス

森の中へ

なぜか扉がついている一本の木を発見

ためらいなく入るアリス

もとの長い廊下へ

キノコパワーでついに庭園へ

## 第8章

---

白いバラを赤に塗りながら口論する3人の庭師（五と七と二）

トランプや白ウサギ登場

女王やうさぎとの会話

フラミンゴやアナグマなどを使ってクロケーするアリス

チェシャねこ再び

## 第9章

---

侯爵夫人ふたたび登場

教訓大好き

ややこしいことをいう侯爵夫人

「にせウミガメに会った？」とムチャぶりする侯爵夫人

とつぜんグリフォンと遭遇

つまらない身の上話

悲惨な学校自慢

## 第10章

---

ロブスターのカドリーユ踊りがどんなにすてきか、知る由もない

スケソウダラは洗濯好き

タタミイワシの上で

「無精者の宣言」を復唱させられるアリス

「ウミガメスープ」を歌わされるにせウミガメ

裁判が始まるぞ～！

## 第11章

---

捕らわれたジャック

盗まれたタルト

証人第一号：帽子屋

またおっきくなりだしたアリス

鎮圧されたモルモット

証人第二号：コック

ヤマネ退場

証人第三号：アリス

陪審員席を崩壊させるアリス

法律書で一番古い規則

謎の手紙

痼癢など一度も起こしたことはないと怒り狂う女王

トランプに襲われるアリス

気がつく川辺

アリスの夢

おねえさんの夢

## おまけ

---

### 山形浩生さんの言い訳

山形浩生さんの翻訳には、最後に言い訳コーナーがあります。

### 言い訳

この文は自由

### 付記

このテキストは、商業利用も含めてどんな形でも利用していい

明日の日本文化はこのオレが支配するのだ！、なんちゃって

不思議の国のアリスに関する情報源

---

FRONT PAGE OF LEWIS CARROLL

[http://www.hp-alice.com/lc/lc\\_index.html](http://www.hp-alice.com/lc/lc_index.html)

不思議の国のアリス - Wikipedia

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%8D%E6%80%9D%E8%AD%B0%E3%81%AE%E5%9B%BD%E3%81%AE%E3%82%A2%E3%83%AA%E3%82%B9>

## あとがき

---

2010年。そろそろ、本格的に電子書籍が始動し始めた感があります。

いままでの紙の書籍とそれに関連して築き上げられてきた文化や習慣などは、リストラ（再構築）されてしまうのでしょうか？

僕自身は、そのような変化を結構楽しみにしています。もっと自由になれるチャンスなんじゃないかと、楽観的な方面に目を向けて。しかし、今までが居心地が良かった人々にとっては、困った事という側面が強いのかも知れません。

不思議の国のアリスは、とてもステキな、すばらしい本だと思います。僕にとってこの本は、もっと自由になれる、なっぺいいんだ、そんな気持ちにさせてくれる本です。

この本も、そんな気持ちを大事にしながら書いています。この本自体が、どんどん変わっていく可能性があります。

「あれ？前に読んだときと、ちょっと書いてあることが変わっているぞ？」

紙の本ならおとぎ話でも、電子書籍なら十分可能ですよね！